地域とともに
ある学校づくり

鬼石連携型小中一貫校（鬼石中・鬼北小・鬼石小）

コミュニティ・スクール通信

いじめ問題教育懇談会号　令和５年１１月７日　広報部

いじめ問題解決に向けた鬼石連携型小中一貫校教育懇談会
テーマ「いじりといじめ」

やまっチ

やまっチが１０月１３日（金）に鬼石中体育館で行われた「いじめ問題解決に向けた鬼石連携型小中一貫校教育懇談会」の様子を紹介するっチ。懇談会には教育委員会の方々、区長会、民生児童委員、ＰＴＡ等地域のみなさんや三校の教職員が参加したっチ。また、今回の教育懇談会では、鬼石中の全校生徒も参加したっチ。これは市内の教育懇談会では初めての試みだっチ。

今回のテーマは「いじりといじめ」。大人と子どもが全部で２１のグループに分かれて意見交流をしたっチ。くわしい内容は下を見てほしいっチ。

たくさんの皆様に参加いただきました

グループで真剣に話し合いです

なかなか難しいなあ・・

テレビのバラエティー番組では芸人さんが「いじる」ことで笑いを取ったり、中学生は友達に「いじられる」ことで楽しい雰囲気が生まれたりしているなど、「いじり」は私たちによって馴染みのあるものになっているっチ。そこで、「いじり」と「いじめ」についてじっくり話し合ったっチ。

＜「いじり」と「いじめ」を調べてみると＞
◎「いじり」→他人をもてあそんだり、困らせたりすること。他者をかまって、からかうこと。おもしろ半分にいじめたり､からかったりすること。
◎「いじめ」→自分より弱い相手を一方的に苦しめること。または、そうした行為。肉体的、精神的に自分より弱いものを暴力やいやがらせなどによって苦しめること。

話し合いの柱は三つ。Ａグループの柱は「いじめといじりの境は？」Ｂグループの柱は「いじりのメリット・デメリットは？」Ｃグループの柱は「いじめにならないいじりは？」。中学生がとても熱心に自分の考えを述べていたのが印象的だったっチ。

話し合いの後、グループごとにこれからの生活で心がけたいことをスローガンや行動目標として発表したっチ。

〈各グループでの話し合い〉
☆各グループでの話し合いで出された意見の中からその一部を紹介します。

Ａグループ→「いじられた人が少しでも嫌だと思ったらいじめ。」「言われた人がイヤかどうかが境。」「いじめといじりの境は、相手の気持ちを想像できているかいないか。」

Ｂグループ→「楽しい、おもしろいがメリット、傷ついてしまう人がいるのはデメリット。」「仲が深まるがメリット、人が傷つく可能性があるのはデメリット。」「相手との距離を縮められるのがメリット、感じ方によっていじめになってしまうはデメリット。」

Ｃグループ→「楽しかったらいじり、辛かったらいじめ。」「お互いに気持ちが通じ合っていて、楽しい気持ちになるのがいじり。」

いじめ問題の解決に向けて　今後、地域としてできることは？

〈参加者の感想から〉

○子どもたちの意見などを間近で聞けることもあって貴重な時間を過ごすことができました。大人だけの目線だと気付かないことばかりで驚かされました。家に帰って娘と考えを共有したいと思います。（地域の方）

○今、学校生活の中を生きている生徒の方々の生の声を聞けてよかったと思います。大人が思うよりしっかりと考えながら人間関係を築いていることが改めて分かりました。（保護者）

○いじりは限界を超えてしまうといじめにつながることがあると思いました。グループでの話し合いで、いじりのメリットやデメリットについて出た考えを通じて、「相手の気持ちを考えて行動する」というスローガンを立てました。このスローガンを作った意味があるように常日頃から意識していきたいと思いました。（中学生）

○生徒・保護者・地域の方・教職員という様々な立場の人がグループ協議をすることで、いじめに関する考えが深まりました。行動目標を生徒が中心になって発表しました。意識を高めて日常生活でも今回の取組が生かされることと思います。（教職員）

教育懇談会のまとめとして
学校運営協議会副会長　金井明彦

「いじり」と「いじめ」の境はあいまいです。でも人権感覚の鋭い人にはその違いが分かります。懇談会に参加された皆さんは世代を超えて活発な意見交換をしたことで人権感覚がかなり磨かれたはずです。今回の懇談会の様子を是非身近な人に伝えてください。そして「いじめ」に素早く反応し、行動できる人が一人でも増えることを期待しています。

最後にグループのスローガンを発表しました

臨時学校運営協議会10月17日（火）

10月17日（火）に臨時の学校運営協議会が鬼石中で行われました。10月13日（金）に行われた「いじめ問題解決に向けた鬼石連携型小中一貫校教育懇談会」の振り返りとして熟議を行いました。学校運営協議会の委員が、ABCのグループで考えたスローガンから共通点を探しました。教育懇談会での話し合いを基に、「自分のことと同じくらい相手のことも考えていくといじめをなくすことにつながる」と導き出すことができました。

教育懇談会の振り返りをしました

スローガンの共通点を探しました

スローガンや行動目標の共通点

Aグループの共通点
「いじりといじめの境はない」「その場の雰囲気に流されず、相手の気持ちを尊重することが大切」

Bグループの共通点
「相手の立場に立って」「気持ちに寄り添って」

Cグループの共通点
「それを言ってもよいか想像力を働かせる」「相手との信頼関係を築く」「自分がされていやなことはしない」「困ったら他の人に相談する」

↓

いじめをなくすために自分のことと同じくらい相手のことを考える